

国土幹線道路部会 ヒアリング資料

令和5年10月5日



公益社団法人 日本バス協会

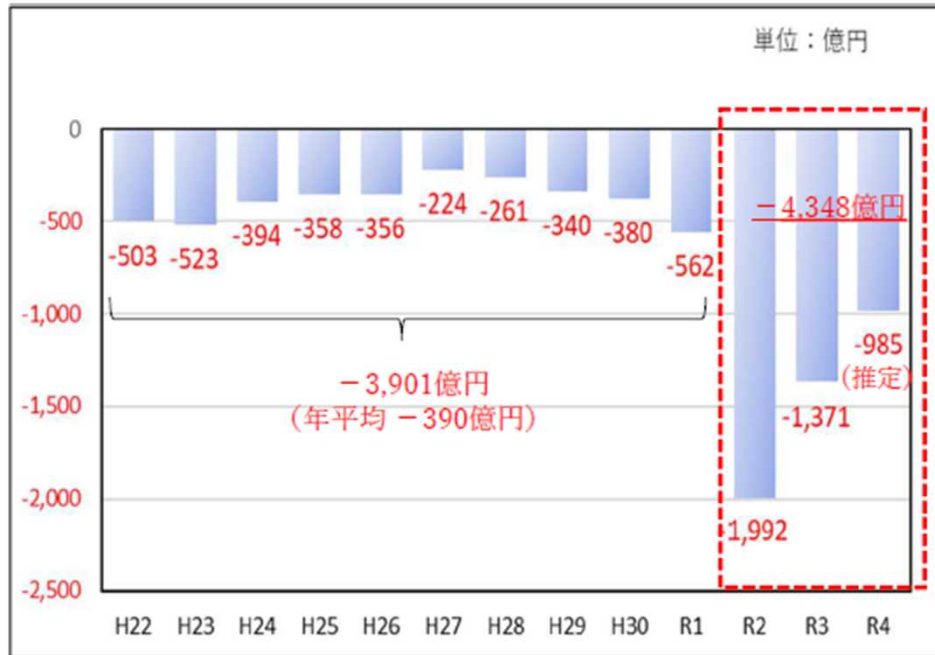
バス業界の現状について

バス事業は、少子高齢化の影響や交通手段の多様化等に伴い、輸送人員は年々減少傾向にあり、厳しい経営環境におかれています。加えて新型コロナウイルス感染症の影響や、近年の燃料価格高騰、運転者不足を受け、戦後最大の危機を迎えています。令和2年度から令和4年度までの3年間で全国の路線バスの赤字は4,000億円にも上っております。

高速バスや貸切バスは多くのバス会社にとって重要な収益源である中で、未だ回復は遅れており、早期に需要回復を図ることが重要です。

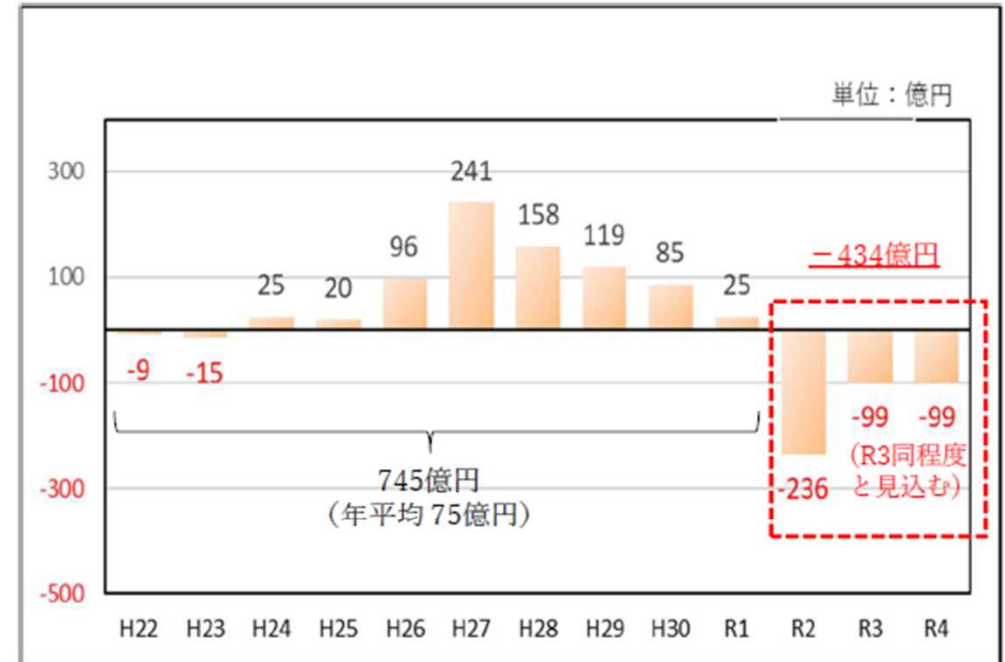
コロナ禍によるバス事業への影響について

○一般乗合バス



コロナ禍以前の年間損失額のおよそ **1.1倍**に相当

○貸切バス



コロナ禍以前の年間収支額のおよそ **6倍**に相当

- ・一般乗合バス：R4年度の収支のうち、支出については、R3年度の「乗合バス事業の収支状況」の支出と同程度と仮定し、収入は「新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響調査（乗合バス）」の一般路線バスの輸送人員のR3年度とR4年度の減収率の平均値を算出し、R3年度からR4年度の改善率をR3年度の「乗合バス事業の収支状況」の収入に乗じて算出。
- ・貸切バス：R4年度の収支は、R3年度の収支と同程度と見込む。

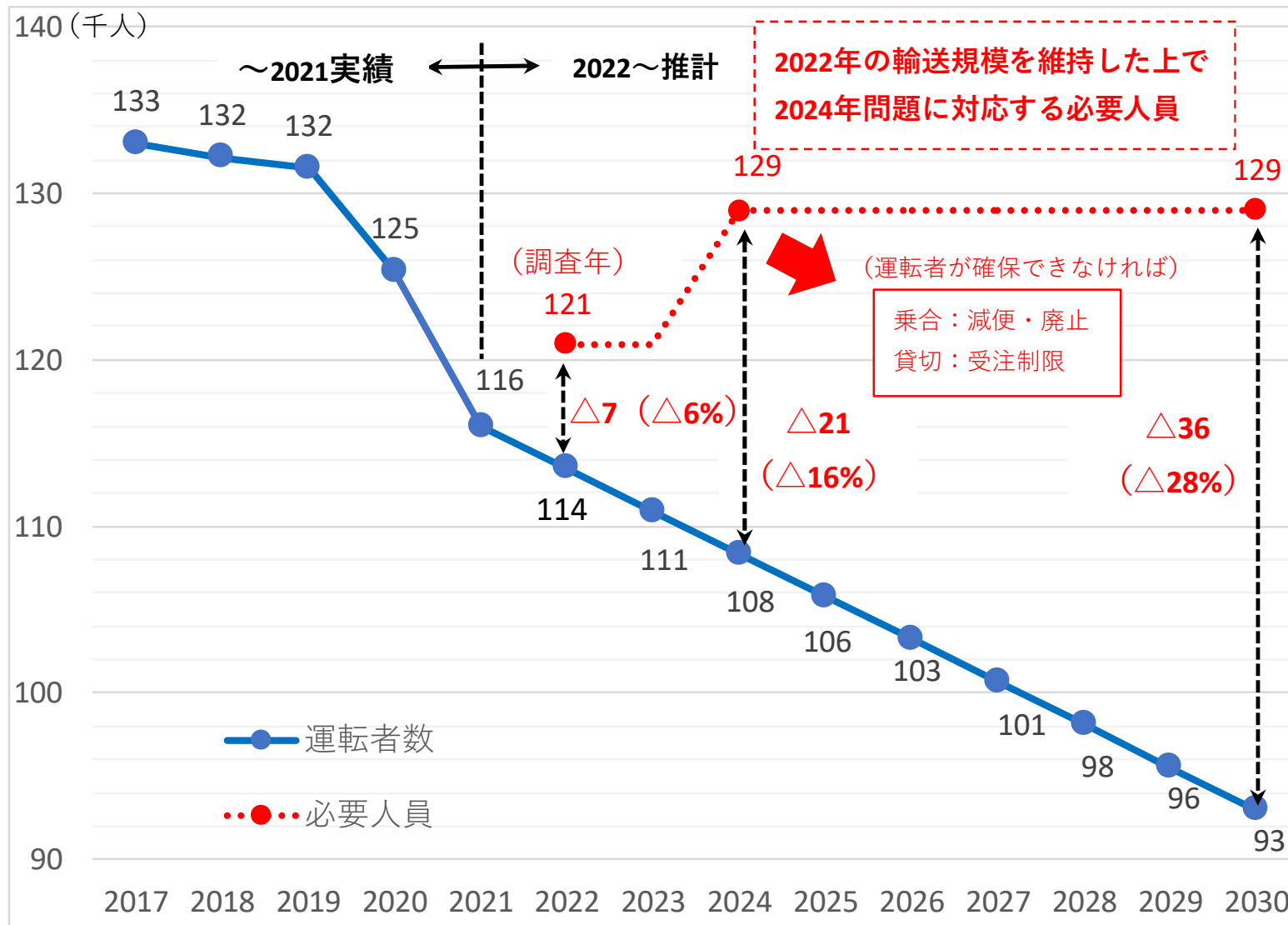
出典：「乗合バス事業の収支状況」「新型コロナウイルス感染症による関係団体への影響調査（乗合バス）」・・・国土交通省資料
「一般貸切バス事業の収支状況」・・・日本バス協会資料

バス運転者の推移及び今後の不足見込みについて

バス事業の人手不足は、2024年問題も加わり一層深刻化

バス運転者(2030年試算)

(日本バス協会試算)



日本バス協会の意見

高速道路を利用するバス事業者として、

- ・道路インフラの維持・管理・拡充は重要である
- ・一律の大幅な料金値下げは、マイカーの利用増によるバス利用の減少及び渋滞の増加を招く



- ・**高速道路の維持管理に必要な通行料金を適切に収受すべき**
- ・**高速道路ネットワーク料金の今以上の値下げには反対である**